

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊草様貸施設 新築工事	階数	地上4F
建設地	藤沢市石川16丁目21-27、-28、-29、-30、-31	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	101人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2017年7月28日
敷地面積	2,029 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社横浜支社 流通一級建築士事務所
建築面積	653 m ²	確認日	2017年7月28日
延床面積	2,491 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社横浜支社 流通一級建築士事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE0.8 ★★☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30%

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 87%
③上記+②以外の 87%
④上記+ 87%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他
室内空間の快適性の向上を目指し、適切な断熱材、仕上材の選定を行うとともに、LED照明等の積極的な採用により、省エネルギーを図る計画とした。	
Q1 室内環境 適正な設備計画を行うことで、室内空間の向上を図る。	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー 設備機器 (LED照明等) の選定により省エネを図る。	LR3 敷地外環境 省エネ性能向上を図り、LCCO ₂ の排出率を抑え敷地外空間への配慮を図る。
Q2 サービス性能 ゆとりのある階高とした。	
LR2 資源・マテリアル LED照明器具の積極的な利用にて節電を行うことで資源の保護向上を図る。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される